

愛玩動物看護師に求められる役割等についての構成員提出意見（概要）

《3-1 愛玩動物看護師が社会から求められている役割》

- ・ 獣医療分野においては、
 - ① 愛玩動物看護師は、チーム獣医療にとってなくてはならない存在として、様々な業務を高いレベルで実現できることが期待されている。
 - ② 愛玩動物看護師は、安全第一（動物にとっても愛玩動物看護師にとっても）なサービスを提供することが求められている。また、そのサービスについて民事・刑事責任を持つこととなる。よって、愛玩動物看護師は、安全な業務実現のための正確な知識と技術を備えていることが必要である。
- ・ うち、診療の補助については、獣医師の負担軽減、ひいては診療の効率化に繋がるものであることが求められている。その結果として、獣医師は診療技術の修得に専念し、高度な獣医療サービスを提供することが期待されている。
- ・ 看護については、獣医師の「病気を治療する」立場とは異なり、動物を「看る」立場となることとなり、従来の獣医学だけでは不足していた介護を含めた「ケア」の領域の強化が期待される。これは診療の補助と同等もしくはそれ以上に大きな役割であり、専門的な知識と技術の修得が求められる。
- ・ 愛護・適正飼養分野においては、動物愛護行政への参画、飼育者への適正飼養に関する啓発・指導における指導者的役割を担うことが求められている。
- ・ 愛玩動物看護師は、専門的な知識の下、愛玩動物をよく観察し、飼い主とのコミュニケーションを図り、チーム獣医療のメンバーと情報を共有し、時間をかけて飼い主とのコミュニケーションを図ることで信頼関係を構築し、適正飼養を促したり指導したりするなど、獣医師や専門知識が不足する一般補助者では果たせない役割があり、そのためのコミュニケーション能力が求められている。
- ・ 愛玩動物看護師は、いわゆる「愛玩動物の看護師さん」と認識され、国家資格化された段階では、「診療の補助」及び「愛玩動物の看護」が中核的な仕事となるが、愛護・適正飼養分野で担う役割も今後進展することが望まれる。

- ・ 愛玩動物看護師が担う各業務は、愛玩動物看護師が働く場によって求められるものが異なってくるが、「診療の補助」、「愛玩動物の看護」及び「愛護及び適正飼養」は密接な関係にあることから、いずれについても必要かつ十分な知識は学習することが望ましい。